

■糸賀一雄 “障害福祉の父”。障害のある子どもたちの福祉と教育の道を切り開き、一生を捧げた第一人者。

いとがかずお

第一次大戦始1914＝ 鳥取市立川町で、長男に生まれる。

弟茂雄、妹美代子が誕生するも、父は不明で、兄弟揃って、母松代の手で育てられ、

大暴落・・・1920＝ 6歳：米子の義方尋常小学校に入学。

原敬首相暗殺1921＝ 7歳：

関東大震災・1923＝ 9歳：

円本時代始・1926＝12歳：卒業し、鳥取県立鳥取第二中学校に入学。

既に、人間そのものを問う生真面目な人物で、生来病弱だったことから、医者になるつもりで、

海軍軍縮条約1930＝16歳：四年で卒業すると、松江高等学校理科甲類に入学。親友円山文雄の影響で、キリスト教に関心を抱き、

満州事変・・・1931＝17歳：

五一五事件・1932＝18歳：

国際連盟脱退1933＝19歳：日本基督教連盟松江教会に入って、高等学校YMCAリーダーとして活躍。この間、色々悩み、親友円山の冬山登山での凍死いう衝撃に、教師の多数が反対するなか、唯一教会に通う恩師松原武夫の支持もあって、文科に転じることを決意、

帝人疑獄事件1934＝20歳：5年かかって卒業、京都帝国大学文学部哲学科に入学。室町教会に移り、宗教学を専攻して苦学するなか、

芥川直木賞始1935＝21歳：教会の同志小迫房と学生結婚。母も同居し、以後、妻に支えられて、自ら進む道を切り開いて行く。

二二六事件・1936＝22歳：

日中戦争始・1937＝23歳：

健保+総動員 1938＝24歳：

第二次大戦始1939＝25歳：長女牧子が誕生。召集され、鳥取第40連隊に入るも結核、帰郷療養中に解除(同期はのちほとんど戦死)。大政翼賛会・1940＝26歳：滋賀県庁の社会教育主事補になり、堅田教会に移る。「次郎物語」の作者である下村湖人と親交を結び、下村の提唱する“煙仲間”運動にも共鳴。主事補として次々と実績を上げ、

日米開戦・・・1941＝27歳：近藤塚太郎知事から異例の抜擢をされて秘書課長になり、“人が第一”という近藤知事の薫陶を受け、もう一人の生涯の恩師となる。学生義勇軍運動に参加、三代目会長十河信二を知られ、関西支部長に。

・・・1942＝28歳：

創価学会検挙1943＝29歳：

敗戦・・・1945＝31歳：敗戦となる。新憲法公布・1946＝32歳：

新憲法公布・1946＝32歳：啞血し入院・療養中、それまでの役人生活に疑問を抱き、県の諸職につきながらも、*戦前の施設を失った池田太郎、田村一二の要請を受け、戦災孤児を収容するとともに、知的障害児の教育を行う{近江学園)を創設し、自ら園長となる。園運営の三条件を定め、{どんぐり金庫)を設立。

新憲法施行・1947＝33歳：次男啓治が誕生。*後援組織{椎の木会)を結成して会長となり、県庁内にも特殊児童教育研究会を組織。初めての園児死亡に遭遇したり、高松宮の来臨がある。

極東裁判決・1948＝34歳：{近江学園)が県立に、{椎の木会)は社団法人になる。文部省の特殊教育教員講習会が{近江学園)で開かれる一方、軍政部の調査を受けて、いわゆる近江学園事件となるが、

三大事件・・・1949＝35歳：経済調査庁の査察を受け、養護幼児全てを里子に出して、事件は終息。園内に小中学校を設置するも、文部省予算配分は受けられず。*全職員が給料の一部を抛金する内部組織{大木会)を結成。県の児童劇コンクールで一等になったこともあって、視察見学依頼が始め、

朝鮮戦争始・1950＝36歳：天皇行幸に至る。以後、県下の社会福祉関連諸組織で要職を務めながら、独立回復・・・1951＝37歳：県立信楽寮を開設(寮長は池田太郎)。{椎の木会)が社会福祉法人{椎の木会)になる。関西精神薄弱児研究会を結成し会長。*十河信二の紹介で、千葉県に農業コロニー{日向弘済学園)を建設し、

TV放送始・・・1953＝39歳：京都大学の非常勤講師、以後度々、他大学にも。*年長女子の職業指導施設{あざみ寮)を開設、自衛隊発足・1954＝40歳：編著で「勉強のない国)を出版。

55年体制始・1955＝41歳：年齢超過者のための{落穂寮)を併設、施設としての{近江学園)がほぼ確立した。国連加盟・・・1956＝42歳：{大木会)が財団法人になる。{近江学園愛育会)を結成し会長。創立10周年記念し“どんぐり章”制定。*京都大学から教育心理学の専門家田中昌丸を招いて専門的調査研究を開始、

美智子妃・・・1959＝45歳：西ドイツ向け記録映画の撮影開始後、*ヨーロッパ諸国に出張、精神薄弱対策を視察して確信を抱き、安保闘争・・・1960＝46歳：ローマでの第10回国際社会事業会議で、これまでの取り組みを発表後、帰国。心臓弁膜症の診断。日本精神薄弱者愛護協会副会長。厚生省から出向してきた滋賀県婦人児童課長山崎圭と肝胆相照らす仲になる。知的障害児を社会で保障する療育体制もとられるようになる。NHK番組「ラジオ特殊学級」に協力し、

タイタイ病始・1961＝47歳：*近江学園の部分を制作。西ドイツ向け記録映画「近江学園の一年」も完成。NHK番組「精神薄弱児のために」に協力。*妻房が朝日新聞明るい社会賞。重症心身障害児施設の先駆となる{びわこ学園)を創設。

東京リビッパ 1964＝50歳：京都府立大客員教授。中央児童福祉審議会、精神薄弱者福祉審議会委員。大学紛争始・1965＝51歳：滋賀県精神薄弱者愛護協会を設立し会長。*「この子らを世の光に～近江学園二十年の願い)を出版し、二つめの重症心身障害児施設である{第二びわこ学園)を設立。

いざなぎ景気1966＝52歳：財団法人{大木会)で、心身障害者福祉問題総合研究所を開設し所長。美濃部都知事1967＝53歳：朝日新聞社会奉仕賞。映画「夜明け前の子どもたち」の制作開始。園長の仕事だけでも過重であるなか、

震ヶ関ビル・1968＝54歳：*外部の仕事もますます多くなり、滋賀県大津市での県新入職員のための講演中に心臓発作により倒れ、翌日没した。葬儀は滋賀県葬で営まれ、天皇から祭葬料が下賜された。この年、出版の「福祉の思想」は自らの思想の集大成ばかりでなく、名著として長くベストセラーになって行く。